

省エネルギー計画手法



企画・計画段階で建物と設備を融合して建築計画と省エネ計画を合理的に行う技術

お客様のメリット

- 設計初期段階で費用対効果を定量的に評価することができます。
- 環境負荷削減効果（ライフサイクルCO2）を定量的に評価することが可能です。

技術の特徴

■省エネルギー計画手法

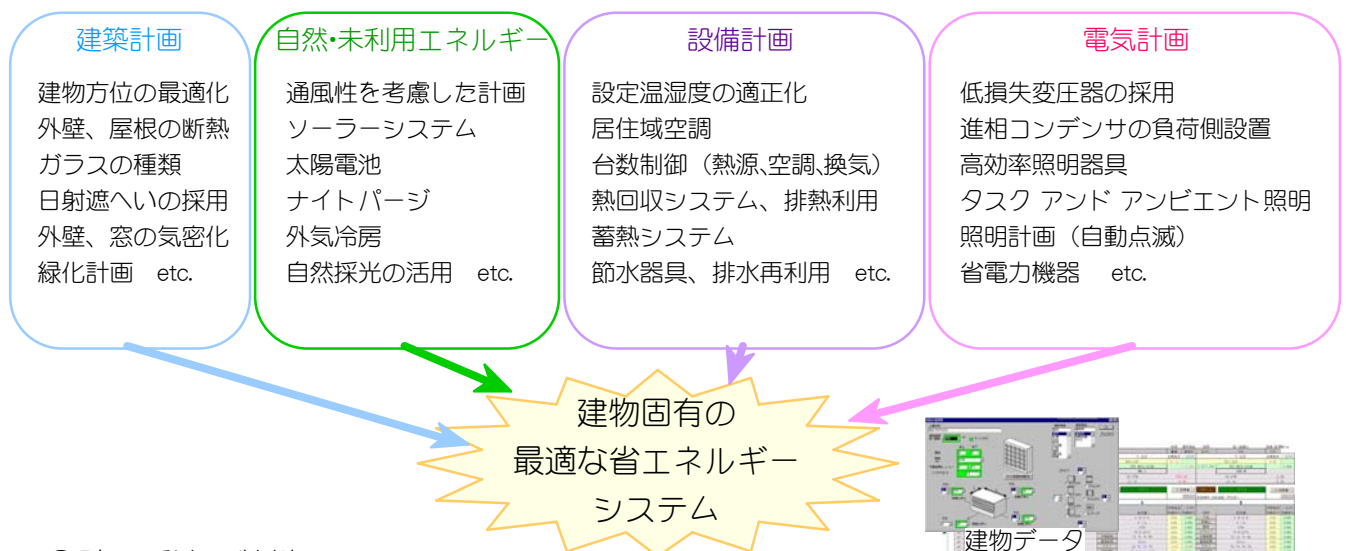
省エネ計画は、建築計画とのバランスが大切です。省エネ計画は企画、計画段階で採用の判断をすることが重要であり、建築と設備を融合した手法を用いる必要があります。本計画手法は計画段階で最適な省エネシステムを見出し、総合的に評価し実現へと導くことができます。

■計画手法の特徴

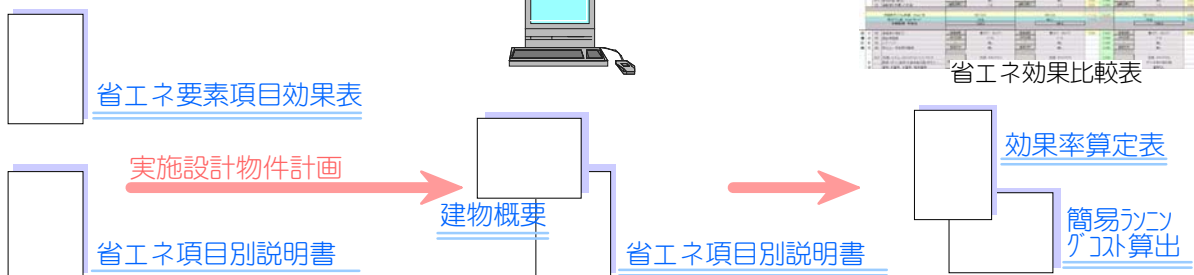
- ・各省エネ手法毎の効果が明示されます。
- ・実設計物件での適用判断の目安になります。
- ・パソコンで手軽に利用できます。
- ・複合省エネ効果を定量化できます。
- ・環境負荷削減（LCCO2）を定量化できます。
- ・簡易ランニングコストを算出できます。

□特許出願済

実績・事例



○計画手法の特徴



おおよその適用判断！

手軽な入力！

わかりやすい予測結果表現！